



2019 年（令和元年） 7月 15日

第 71 号

発行

一般社団法人
尼崎市手をつなぐ育成会

尼崎市西難波町 2-3-10

TEL (06) 6419-3897

FAX (06) 6419-3899

E-mail: ikuseikai.ama@y3.dion.ne.jp

http://www.ikuseikai-ama.com/

令和によせて

5月から新しい元号令和がスタートしました「令和」は万葉集から典拠され「美しい調和」という意味があります。当会は昨年度創立 60 周年を迎えましたが、昭和、平成そしてこれからの令和の時代も変わらず関係機関の皆様方と手を携え調和・協調しながら活動したいと考えています。

次に当会の活動を 3 点ご報告いたします。

まず、啓発活動として知的障害疑似体験グループ「まんまるはーと」を立ちあげて 5 年目になります。昨年は、京都育成会や兵庫県の司法書士会など幅広くお声をかけて頂き活発に活動しています。今年も更に知的障害の人達の理解促進に励みたいと思っています。

2 点目は、昨年 9 月の台風 21 号で尼崎市をはじめ近畿各地では今まであまり経験した事がないような台風が直撃し、甚大な被害をうけました。この事に関して、被害状況や困った点などのアンケートをとり、その結果を基に地区懇談会で改めて災害時の心構えや準備などを話し合い防災クイズもしました。

また、災害時伝言ダイヤルのプリントを作成し会員に配布しました。今年度も引き続き災害時の対応を発信していきます。

3 点目は当会では永年施設建設基金をし、社会福祉法人福成会が施設建設時にその都度寄付を行ってきましたが、会員がもっと有効利用できる会独自の建物を建設するのはどうかという提案があり、昨年度末、現在の資金を提示しアンケートを採りました。その結果回答のあったほぼ全員の方より建物の建設について同意を得ることが出来たので今年度は具体的な進展を図りたいと思っています。

つづきまして嬉しい報告を致します。今年の 3 月 25 日に京都御所で上皇様と美智子上皇后様主催のお茶会

一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会
会長 井上 三枝子

が開催され、全国手をつなぐ育成会連合会の久保会長が招待されました。その時に、久保会長が上皇様に 10 年に 1 度の東京大会でご挨拶頂いている件について御礼を申し上げると、「活動はうまくいってますか？がんばって下さい」とお声掛け下さり、また美智子上皇后様からは四角く手をつなぐ冊子の形をとられ、「大切なお仕事なのでこれからも宜しく」とお言葉を頂いたそうです。尼崎市は全国一の購読数を誇っていて、今回このような報告を受け力強い後押しになりますとともに、私達自身で制度の事や障害の事等研鑽を積み重ねればと心を新たにいたしました。

さて、尼崎は田能遺跡にみられるように弥生時代からすでに集落があり、また江戸時代は城下町として栄えその後明治時代には産業を基盤に発展しました。3 年前の尼崎市制 100 周年の式典時に井戸知事が「歴史あり、文化あり、産業あり」と尼崎市のことを讃えましたが、まさに文化と歴史の象徴である尼崎城が再建され 3 月 29 日に一般公開されました。この尼崎城の完成をお祝いし、サポートセンターまつばの石井克子さんが「あまがさき城音頭」を作詞作曲しました。尼崎の歴史や風景がふんだんに盛り込まれた歌詞 (P7 参照) でリズムの良さに思わず口ずさんでしまいます。「あまがさき城音頭」が市を代表する曲になり、歌詞に込められた尼崎の素晴らしさを沢山のの人に知って頂ければと願っています。



(2019 年 5 月 24 日決算総会挨拶抜粋)



就任のご挨拶



尼崎市健康福祉局障害福祉担当

部長 高田 繁樹

今年度4月より、障害福祉担当部長を拝命しました、高田 繁樹（たかだ しげき）でございます。平素は本市の障害福祉行政にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

当職は平成28年度に新設された役職で、長く障害者福祉に携わった沖田部長から引継ぐこととなり、私にとっては重責となりますが、城間障害福祉課長、富田障害福祉政策担当課長、塩谷北部障害者支援課長、山崎南部障害者支援課長と力を合わせて、障害者福祉の増進に取り組んで参りますので、よろしくお願いします。

本市では、平成30年1月に保健福祉業務の再編を行い、南北の保健福祉センターが開設されました。これに合わせて、本庁で実施していた相談・申請業務について、それぞれのセンターに障害者支援課を設置し、対応することとなりました。また、本庁には、障害者手帳の作成業務や、障害福祉サービスの事業者指定業務、政策立案業務など、引き続き、障害福祉課・障害福祉政策担当が残ることとなりました。本庁とそれぞれのセンターに組織が分かれたことで、わかりづらくなってしまった部分もあると思いますが、基本的には、

個別の利用者の相談や支援はそれぞれのセンターの障害者支援課が窓口になりますので、まずは、お越しいただければと思います。

当面の主な取組としては、平成28年4月の障害者差別解消法の制定を受け、設置しました障害者差別解消支援地域協議会において、パンフレットの制作など、具体的な啓発の検討を進めていくほか、市役所内での障害者就労実習の拡充や就労支援施設等販路開拓に向けた支援を進めるとともに、障害のある人の重度化・高齢化に対応する「日中サービス支援型グループホーム」の整備に係る建設費用等の一部の助成など、施策の推進を行ってまいります。

尼崎市手をつなぐ育成会におかれましては、井上会長をはじめとして、各審議会・協議会への参画や、「まんまるはーと」の皆さまによる本市職員研修等でのご支援など、多方面にわたりご協力をいただきました。この場をお借りして、改めてお礼を申し上げます。

今後とも、本市障害福祉行政の推進に尽力してまいりますので、皆さまのお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

60年をふり返り...

昨年度、当会は60周年を迎えました。また、3月14日の予算総会が平成最後の総会ということとでジュースで乾杯をしました。その後、先輩の方々から育成会の歴史や当時の福祉制度や思い出話と共にこれからの育成会へエールを頂きました。



左から 日高さん、眞殿さん、征矢さん
近友さん、前田さん





就任のご挨拶



尼崎市立あこや学園

園長 井 上 由 美

昨年 11 月より、尼崎市立あこや学園の園長となりました井上由美と申します。

あこや学園の名前の由来は、あこや貝が真珠を育てるように、保護者と職員が子ども達を育み、「健やかに育て」との願いを込めて命名されました。平成 25 年には創立 50 周年を迎えることができました。

平成 31 年 4 月現在の園児数は、47 名です。児童発達支援センターとして、一人ひとりの特性や発達段階に配慮しながら、生活や遊びを通して子ども達の発達を支援します。具体的には①じょうぶな身体をつくる②感情を豊かに表現する③基本的な生活習慣を身につけることを目標にしています。

私自身、毎日通園バスで、元気に登園して来る子供たちの姿を見ながら、心身ともに健康で、豊かな感性を持った子どもに成長し、それぞれの地域において、健康でいきいきとした生活を送ることを願っています。

私は、尼崎市社会福祉事業団の職員として、障害福祉の分野で 30 年近く働いてきましたが、障害児・者を取り巻く環境は、平成の時代に、措置

から契約へと転換した支援費制度にみるように大きく転換しました。そして今、令和の時代を迎え、「障害があっても地域の中でその資源を利用し、地域住民と共に過ごす共生社会を目指す」というインクルージョンの理念を具体化させた社会の構築が必要不可欠と実感いたします。

そして、そのような時代の中で、尼崎市手をつなぐ育成会の存在と活動は、非常に重要であると思っています。

今後も、尼崎市立あこや学園が地域に開かれた児童発達支援センターとしての機能と役割を發揮できるように努力をするとともに、地域の皆様と共に、尼崎市手をつなぐ育成会の皆様との関りを大切にしながら、子どもたちの成長と発達の促進を支援してまいりたいと思っています。

これからも、尼崎市立あこや学園の子ども達に対して、温かい励ましとご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



幼児期・学齢期バスツアー ～いちご狩りとイングランドの丘で楽しもう！～



3月26日(火)市役所西側に集合し、まずは淡路島 イングランドの丘に向けて出発。途中渋滞でしたが、ビンゴゲームで盛り上がりました。

到着後は、自由行動で乗り物や散策を楽しみ、お花もたくさん咲いていてのんびりと過ごす事ができました。

その後は、山城農園でいちご狩りをしました。いちごは甘くてとても美味しかったです。帰りも渋滞で長時間になりましたが、映画を見たり音楽を聴いたりして楽しみました。お天気も良く、春の一日を満喫できるバスツアーになりました。

子育てカフェ

子育てカフェでは小グループでテーマを決めて勉強会や話し合いをしています。幼児期・学齢期のママさん、お気軽にお立ち寄りください。



Part 1 「RPMへのワンステップ」 10月31日

RPMについての基礎的な説明にはじまり、実践されている方のレッスンの動画を見ながら、お子さんの様子の変化や成果についての報告を聞きました。またソマさんの論文の一部を翻訳したものについて話し合うなど、盛りだくさんの内容で充実した時間でした。今回は、会員以外の方の参加もあり、注目度の高さが伺えました。



Part 2 「小学部＆小学生の子の母の情報交換会」 12月19日

子どもが阪神特別支援学校に通うグループと地域の小学校に通うグループに別れ、学年を超えた情報交換や学校の様子を話しながら悩みなどを分かち合いました。どのグループも大変盛り上がり、笑い声が絶えない時間となりました。



Part 3 「兄弟の結婚の話」 2月25日

障害を持つ本人のきょうだいが結婚している、という先輩お母さんの話を聞く会を設けました。きょうだいの結婚の話にとどまらず、障害のある本人が家族の中でどのような役割を果たしているのか、それを周囲がどう受け止めているのが理想か、そのために小さい頃にどんなことに留意して子育てをしてきたか、などの話に派生して、有意義なカフェとなりました。



成年期バスツアー ～海遊館・愛彩ランドへGO～

11月17日



暖かい小春日和となり、総勢 49 名で出発。海遊館では「日本の森」に始まり、「モンタレー湾」「南極大陸」など、様々な世界の海洋生物を見ることができました。特に悠々と泳ぐジンベイザメには時間を忘れ見惚れていました。昼食はマーケットプレイスでそれぞれ摂り、次の目的地「愛彩ランド」に行きました。車中では恒例のビンゴ大会で盛り上がりました。

愛彩ランドでは、大きなカートを押して新鮮な野菜をたくさん買い、楽しい一日を過ごすことができました。



「あいすくりーむの家」見学

1月18日

「あいすくりーむの家」は明石市にあり医療的ケア対応グループホーム「あいすくりーむの家」、高齢化や身体機能低下がみられる方を対象としたグループホーム「ショコラ〈男性〉・バニラ〈女性〉」、日中の居場所である生活介護共生型通所「かいのき」が併設されています。

「あいすくりーむの家」では、常に看護師を配置し、ターミナルケアや医療的ケアが必要になった時もサポートします。

「かいのき」は作業療法士・理学療法士・言語聴覚士によるリハビリや活動を行います。共生型通所事

業所として 65 歳以上になられた方も利用可能になりました。

とても広い敷地にグループホームと生活介護の施設があり、車イスの移動や入浴介助に必要なリフトなども設置されいろんな所に配慮が感じられました。24 時間看護師を配置していて「看取り」まで行っているのは高齢になっても安心して過ごせ尼崎にもほしいなと思いました。



リフトを使って入浴のデモンストレーション



グループホームの居間

尼崎再発見第6弾 寺町・尼信会館見学



ガイドさんの説明を聞きながら散策を楽しみました。



10 月 25 日

寺町見学が昨年は雨で中止となりましたが、今年は良いお天気に恵まれ、3 名のボランティアガイドさんの元、3 グループに分かれて寺町を散策しました。一步足を踏み入ると立派な庭の大きなお寺が並んでおり、駅の近くとは思えない静かな空間でした。町の歴史やそれぞれのお寺の詳しい話に、皆さん熱心に耳を傾けていました。

尼信会館にも尼崎の歴史のわかる貴重な資料が多数展示されており、まさに「尼崎再発見」をすることができました。



尼信会館の展示も素晴らしかったです。

ミーツ・ザ・福祉

11 月 10 日 (土)

2 年目のミーツ・ザ・福祉は、昨年とは場所を変えての開催でより工夫されたイベントとなり、多くの人にぎわいました。毎年おなじみの漬物は即完売。綿菓子作りも手慣れたもの、バザー品もお客さんと会話を楽しみながら販売できました。ご協力いただいた方ありがとうございました。



平成 30 年度 賛助会員

福満久晃様、森 康佑様、宮下 哲様
加藤泰子様、島 祐貴様、山元拓馬様
笠井喜世志様、

ありがとうございました。



平成 30 年度尼崎市へ下記の要望書を提出しました

平成 30 年度 要望書

1. 尼崎市内に複合施設の建設
 - ・高齢化、医療的ケアに対応し、ショートステイや相談支援を併設した施設
 - ・共生型サービスを進めてほしい
 - ・緊急時のショートステイの受け入れ体制を確立してほしい (児童・成人)
 - ・特養に障害者枠を考えてほしい
1. 知的障害児に対するインクルーシブ教育の推進
 - ・地域の学校へ希望している児童を受け入れてほしい
 - ・保育所等訪問支援員を増やし教員のスキルを上げてほしい
1. 知的障害児に対する教育効果が高まるような方策を
 - 1. 公共機関に特例子会社のような部署を設置
1. 災害時における知的障害児・者への適切な対応
 - ・一時避難所を充実してほしい
1. 選挙における知的障害者への合理的配慮
1. リハビリセンターの設置

「尼崎城」が再建されたお祝いにサポートセンターまつばの石井克子さんが「あまがさき城音頭」を作詞・作曲しました。郷土愛溢れる内容でみんなの想いが詰まっています。この音頭とともに尼崎市のますますの発展を祈念します♡



「あまがさき城音頭」ができるまで

サポートセンターまつば 石井 克子

尼崎市に生まれ育ち音楽の仕事をしてきましたが障がいを持つ 2 人の子どもを授かり時には悲観的なこともあり、そのような中でいつも音楽が心の支えでした。

やがて子どもたちが生まれたあの日の感激を思い起こしたいと「輝く明日へ～夢をいだいて」という曲を初めて作り、次は子どもたちと一緒に歌えるようにと「大好きな日曜日」を作曲してご近所のボーカリストさんに歌っていただき、兵庫や大阪の介護・福祉施設にてボランティア演奏を 10 数年続けてきました。

現在では阪神間のコーラスサークルなどでも歌ってくださるようになり、それがきっかけで今年初めに尼崎城の開城に向けての曲をとのお話がありました。

どうしたものかと思いながら洗濯物を干しつつ「お城はキャッスル・キャッスル、次はハッスル・ハッスル」と歌と振り付けのイメージがふつふつと湧いてきたのです。

出来上がってお城担当の方に聞いていただくと、多額の寄付をされたミドリ電化の社長さんのことをぜひ加えてほしいとのことで修正し、今月にはまたご近所の踊りの先生が振り付けをしてくださり先日のお城でのイベントにて披露できました。

✧ 尼崎市の良いところをたくさん PR して、イメージアップを図るための応援ソングを。

✧ 子どもも大人も、高齢でも障がいがあっても、立っても座ったままでも一緒に歌えて踊れるような楽しい曲に。

✧ それぞれの地域で盆踊りの輪が広がり、さらに仲良く元気になれるような街づくりを。

そんな願いを込めて作った「あまがさき城音頭」は、まず我が家の子どもたちが聞くといつも笑顔を見せてくれ、そして演奏を聞いてくださった方々から地域の盆踊りにとのお声掛けもいただいていた DVD を製作中です。大変覚えやすいので多くの方に知っていただき口ずさみ踊ってくださいますように、そしてこの曲を通して尼崎の良さを改めて感じ合い活性化につながる機会になれば嬉しいです。

ご紹介いただいてありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。



「あまがさき城音頭」

詩・曲・編曲：石井克子

皆さんも一緒に!!
ハッスルハッスル
ソレソレソレソレ

* { キャッスル キャッスル (ソレソレソレソレ)
ハッスル ハッスル (ソレソレソレソレ)
あなたもわたしも AMA (アマ) みんなで歌おう AMA (アマ)
キャッスル キャッスル ハッスル ハッスル
あまがさきの お城音頭 (アマ・アマ・アマアマ)



水のみやこの大阪と 港神戸のほど近く 便利ですみよい この町に お城ができたよ あまがさき城
弥生時代の 田能遺跡 近松さんの 浄瑠璃に みまもられて つつまれて つづいてきました この歴史

* 繰り返し

寺町どおり見まわすと 忍者スタイルはしりだす 元気わきでる そのすがた 夢と勇気が あふれだす
ミドリ電化のまごころに みんなの気持ち あつまって 義理と人情のこの町に あらたに生まれた このお城

* 繰り返し

キャッスル キャッスル (ソレソレソレソレ)
ハッスル ハッスル (ソレソレソレソレ)
マッスル マッスル (ソレソレソレソレ)
AMA (アマ) AMA (アマ) あ・ま・が・さ・き・じょー!

ダウンタウンに花がさき 400 年の時こえて
平成最後の その年に あらたに生まれた このお城

* 繰り返し



おめでとうございます！

兵庫県社会福祉協議会
(会長表彰)



相木力子 様

兵庫県知的障害者福祉大会
(理事長表彰)



加藤智子 様・山畑佳子 様

兵庫県社会福祉大会知事表彰
「障害者自立更生者」

杉本 和彦 様 (立花地区)

兵庫県障害者芸術・文化祭
兵庫県手をつなぐ育成会理事長表彰
「知的障害者就労表彰者」

20年表彰

樋口 誠 様 (立花地区)

市明 久 様 (立花地区)

浦山 清次 様 (園田地区)

10年表彰

是澤 達也 様 (中央地区)

新理事紹介

〈本部〉



鳥居



上段 山畑、加藤、井上(恵)、山本

下段 田中、津、井上(三)、竹田

〈地区・施設〉



上段 相木、村中、井上(由)

下段 宮城、儀間、川端

〈監事〉



新本、吉岡、岩永

〈書記〉



横山、大坂



茨木



石井



片野坂

よろしくお願いします

編集後記

新元号の令和と共に尼崎市育成会も新体制でスタートしました。尼崎城が再建され、新しい尼崎を発信する絶好のチャンスです。当会ではそれぞれの年代の課題に向けて取り組んでいますが、その中でも、AプロⅢで考えていた七松の活用については、全会員が利用できる建物を検討中です。ご期待ください!! 最後になりましたが、お忙しい中原稿をお寄せくださいました皆様ありがとうございました。